

令和3年度 教育コミュニティづくりに係るコーディネーター研修

兼 第2回子どもたちの未来をささえる地域人材養成講座を開催しました！

7月19日（月曜日）、天王寺区民センターにて「令和3年度 教育コミュニティづくりに係るコーディネーター研修 兼 第2回子どもたちの未来をささえる地域人材養成講座」を開催しました。コーディネーター（学校支援に関わるコーディネーター、おおさか元気広場に関わるコーディネーター、家庭教育支援チームリーダー、親学習リーダーを含む）、行政関係者、コーディネーターの役割や活動に興味関心のある方、安全管理員、学校関係者、放課後児童支援員及び補助員がともに「救急救命」について考えました。

1. 日時 令和3年7月19日（月）14時00分～16時30分
2. 会場 天王寺区民センター
3. 参加者 コーディネーター、安全管理員、ボランティア、学校関係者、放課後児童支援員 等 73名

1. 事業説明 大阪府教育庁 市町村教育室 地域教育振興課職員



「教育コミュニティづくり推進事業」について、「学校支援活動」「おおさか元気広場」「家庭教育支援」のそれぞれの内容を、事例をふまえて具体的に説明することで、今後活動する上での参考としていただきました。

2. 講演 明治国際医療大学 保健医療学部 救急救命学科 教授 上久保 敦 氏



第1部

心肺蘇生法について、コロナ禍の中での心肺蘇生法、心臓振とうや死戦期呼吸、AEDの使い方等、最新の情報を講演していただきました。上久保教授ならではの、現場感覚での講演に、参加者の方々は真剣な表情で聞き入っていました。迷ったら行うこと、悩んで行わないことが一番いけないということなどが心に残ったようです。



第2部

衣服を着た大人の人形、乳児の人形、テニスボールを使って、心肺蘇生の実演を行いました。周囲の人と協力して行うことの大切さや、押すスピード、強さなど、皆さん悩みながら、一生懸命取り組んでいました。



第3部

熱中症や骨折などのケガ、けいれん、アレルギー、新型コロナウイルス感染症等について、予防策や対応策等を、映像も交えて教えていただきました。特に、熱中症については、マスクとの関係や、経口補水液等、最新のデータをもとに、現場に即した対応を、具体的に教えていただきました。



- ・赤ちゃんの人形が初めてで、とても勉強になりました。
- ・心肺蘇生の講習は何度もしていますが、一番良かったです。
- ・コロナ禍のもとで、それに対応した救急救命法を教えていただけたのは大変参考になった。